

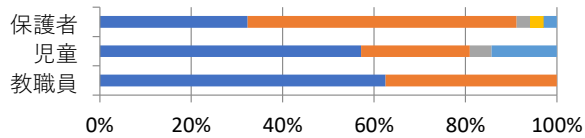
# 令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

## ①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

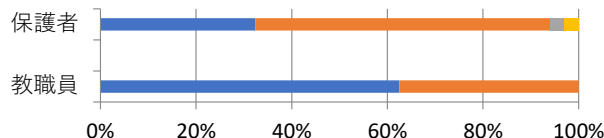
### 1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。



### 2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

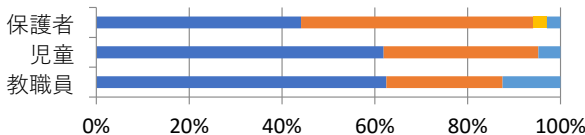


【学校から】教職員は毎週金曜日に児童理解の時間において、児童の共通理解を図るとともに、全職員で児童の理解と適切な支援に努めてきた。また、年に2回、教育相談の時間を設けて教師が児童一人一人の思いに耳を傾けるようにしている。さらに「親子道徳の日」を設け、感想交流する取組や「ファミリー読書」の日を設ける等、心の教育の充実を図っている。児童の尊重、心の教育の充実どちらの項目も、保護者は90%以上、教職員は100%肯定的な回答であった。今後も心の教育の充実を目指して、すべての教育活動の中で意図的に取り組んでいきたい。

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

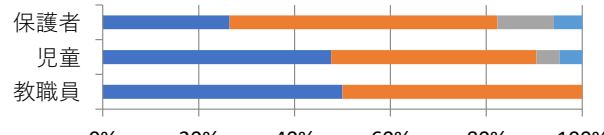
### 3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



### 4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

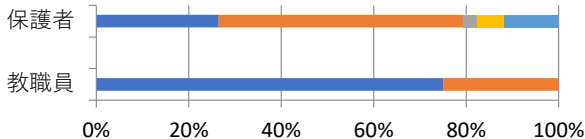


【学校から】わかる授業、楽しい授業づくりについては、保護者と教職員は約90%、児童は95%以上であった。タブレット活用については保護者は80%以上、児童は約90%、肯定的な意見であった。教職員は授業時に、タブレットや電子黒板を活用して具体的に示したり児童が操作できるような教材を用いたりして、わかる授業づくりに努めている。また、必要感のある場面でタブレットを効果的に活用するように努めている。今後「子どもが自ら学び取る」授業づくりに向けて、さらに研修を深めていきたい。

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

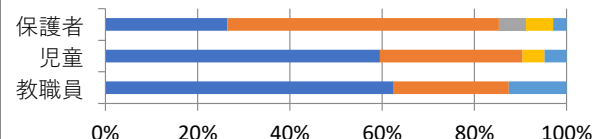
### 5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



### 6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。

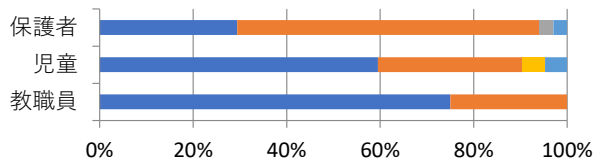


【学校から】本校では、月に1回校内支援委員会を開催し、児童の実態把握や適切な支援について検討している。また、必要に応じてケース会議を開き、支援の場について検討している。さらに、本校の特別支援学級である「みどり学級」と通常学級児童との交流会を学期に1回設けている。みどり学級での学習や、得意なこと・苦手なこと・がんばっていること等を伝えたり一緒にゲームをしたりして、子ども同士の相互理解が進むような場を設けている。今後も共生社会の実現をめざし、多様性を受け入れるあたたかな風土づくりがさらに進むよう、取組の工夫をしていきたい。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

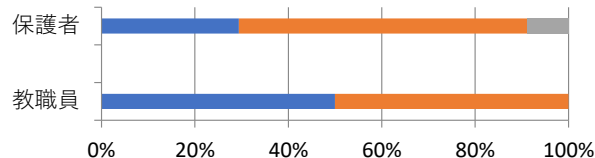
7 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



8 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

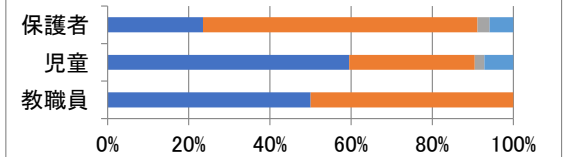


【学校から】安全と事故防止については、肯定的意見が保護者・児童・教職員共に9割を超えている。家庭や地域との連携においても9割が肯定的意見であった。昨年度から実施している交通教室では、実際に日常使用している自転車を学校に持ち込み、自転車の安全な乗り方について学習の機会を設けた。また、自治協議会・防犯協会等、地域の防犯パトロール等での見守りにより、児童の安全確保がなされている。今後も地域とともにある学校づくりに向け、地域の各種団体と連携・協力しながら、子どもたちの健全育成に努めていきたい。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

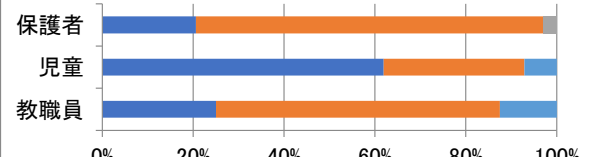
9 学校の経営方針の周知

学校は、「自分も友だちも大切に」の経営方針を、児童・保護者・地域に分かりやすく示していると思いますか。



10 「自分も友だちも大切に」

子どもたちは、自分と周りの人たちを大切にしていると思いますか。

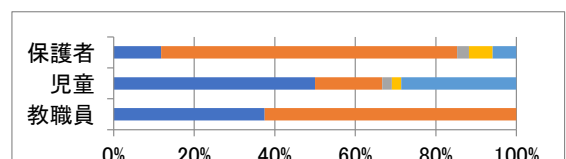


【学校から】教職員は学校教育目標の実現のために「徳・知・体」の3部会を構成し、それぞれの部会で具体的な取組を検討し、共通実践している。そのため、教職員は100%理解している。また、保護者は90%以上であるが、児童は約70%に留まっているため、今後さらに継続して周知を図る必要がある。子どもたちが「自分と周りの人たちを大切にしているか」に関しては、保護者は97%、児童は93%に対し、教職員は88%であり「分からない」という回答もあった。日常生活で指導が必要な場面で、その都度「その行動は自分や友だちを大切にしていると思うか」ということを問いかけ、自己の行動を振り返るようにしている。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

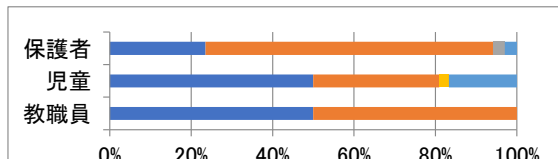
11 天明中学校区4小の交流

学校は、天明中学校、銭塘小学校、奥古閑小学校、川口小学校との交流を積極的に進めていると思いますか。



12 友だちの意見を聴いたり伝えたりする力の育成

学校は、子どもたちの「友だちの意見を聴いたり自分の考えを伝えたりする力」を育成する取り組みを行っていると思いますか。



【学校から】今年度は、見学旅行や集団宿泊教室以外でも、外国語や学校保健委員会等においてオンライン交流会等、交流の機会を増やしている。保護者は約80%、児童は約70%が肯定的な意見であった。自分の思いや考えを相手に分かるように伝えることができるように、始業式や終業式、「学校会」等、全校が集まったときに異学年の児童とも自分の考えを伝えることができるような対話の場を設定している。オンラインも活用しながら、多様な意見に触れる機会を継続し、学びの広がりをめざし、かつ、義務教育学校設立に向けて、さらなる連携を深めていきたい。

## 来年度の具体的な取組について

○本校は、ほとんどの職員が児童全員の名前を知っている。児童一人一人の日常を見取り、よさや個性を伸ばすとともに、来年度も「自分も友だちも大切に」できる子どもの育成を目指して、全職員で力を合わせていきたい。

○きずなアンケートや教育相談を継続し、いじめや不登校等への早期発見と早期対応に努め、一人一人を大切にした教育を今後も継続していく。

○課題として保護者からも声が挙がっているメディアとの向き合い方も含め、「すこやかファイル」を活用し、児童の心と体の健康のために、家庭との連携を一層図っていきたい。

○来年度は天明中校区の小中学校合同研修会を定期的実施予定であるため、天明中校区のめざす子ども像を具体的にイメージし、つけたい力を意識して日常の指導を行うなど、小中一貫教育を充実させていきたい。

## 学校関係者評価

○授業を受ける子どもたちは楽しそうに学んでいてよいと思う。電子黒板を使った授業は分かりやすいと思う。子どもたちもタブレットを活用しているようだ。

○子どもたちの言語活動については、「いいと思います」などのよい言葉を使っていた。ことばで伝える力は大切だと思う。

○学校評価は、保護者の評価の9割近くが肯定的でかなり高いと感じる。安心して学校に送り出せると思う。

○コロナによって生み出されたアイデアはいいものがある。地域の方がいつでも子どもを見ることができるよう自分たち大人から寄りそってあげられるようにしたい。また、この地域から子どもたちが夢を実現できるようにしていけたらと思う。